

第二部

# 若くして 引退する 方法

NikonikoHonpo Ltd.  
細矢 ますゆき

**最短**

**で経済的自由人  
になる新提言**

ポイント

わらっちやうほど  
自由に生きる！

細矢です。

今日は前回の続きです。

前回までのお話は、引退は実は簡単であり、  
宝くじを当てる必要もなければ、  
ビッグビジネスで一発当てる必要もない。

**ポイントは発想の転換である。**

発想を変えれば笑っちゃうほど自由に引退することは簡単である。  
そんなお話を致しました。

そこで、知らなければならぬのが、

## **足るを知る＝裕福度指数**

という概念でした。

**無駄のない生活＝少ない引退資金**であり、  
無駄を徹底的に省くことが重要であるとお伝えしました。

では、私たちの生活の中で、何が無駄なのか？  
何があなたの引退を遠のかせているのか？

今日は **7つの無駄のうち6つ** をご紹介しました。

### 1. 通信費

2. TV
3. 遊ぶお金
4. 車
5. 自慢費用
6. 住宅費

今日はその最後の7つ目となる無駄を  
あなたにご紹介します。

※前回のレポートを読んでいない方はこちら↓

<http://www.nikoniko-honpo.com/repo/free1.pdf>

まだ最後の1つをご紹介していませんが、  
合計7つの無駄を省けば、あなたのだれよりも  
早く引退できることを私はあなたにお約束致します。

前回、お伝えした通り、変人扱いを受けるかもしれませんし、  
友達が減るかもしれません。

しかし、誰よりも早く引退するための手法として  
他人がどう思うかは知りませんが、私の個人的に  
無駄だと思う支出を紹介します。

ぜひ、ご自身の資産状況と合わせて、  
ゆっくりと私の話を聞いてください。

実践すればするほどに、あなたの経済的自由への  
引退は早くなることをお約束いたします。

それでは、7つの無駄のうち最後の1つをご紹介します  
いなかったと思います。

では、7つ目の無駄とは何か？

続きをご覧ください…

## 7つ目の無駄.

# それは、借金 です

無駄な借金はしないと決めてください。

借金は麻薬と一緒です。

一度、ハマると抜け出すのが大変です。

『融資枠＝まだ使える自分のお金』と錯覚を起こしてしまい、  
余計なものを買ってしまう習慣がついてしまいます。

借りるのは一瞬ですが、返済には数ヶ月から数十年わたって  
お金を払っていかなければなりません。

すでに借金がある人は、1日でも早くすべてを支払うことに  
集中してください。

借金は何もしなくて利息が取られます。

何もしなくても利息が取られるということは、  
あなたから自動的にお金が取られて、  
相手に不労所得が入っていることになります。

**資産を築くどころか資産を奪われる原因です。**

あの世界的な資産家であるウォーレンバフェットも  
「借金はするな」と言っているほどです。  
彼以上の資産をもっていない私たちは彼の意見に耳を貸さなければなりません。

「細矢さん、でも待ってください。

借金には『良い借金』と『悪い借金』があると聞きました。

『良い借金』はお金を運んできてくれるので  
その借金ならばいいんじゃないですか!？」

この意見に私は反対しません。  
むしろ賛成しています。

日本の企業の約7割は借金をしていますし、  
借金をしてレバレッジをかけて資産を生み出す手法もあります。

有名な手法ではアメリカの億万長者であるロバート・キヨサキ氏が  
不動産投資をする際に、良い借金をして資産を築く方法を  
日本に広めました。

わたし自身も不動産投資をしているので、

当時の不動産投資の先生からは、良い借金については習いましたし、不動産投資に限って、借金をして物件を数戸ほど持っています。

そして、毎月、現金を運んでくれているのも事実です。

ただ、お金を生み出さない借金以外は借金をすべきではない  
と思っています。

お金を生まない借金ならば、してはなりません。

なぜなら、

## 私利私欲の借金が原因で**自己破産**

してきた人を数えきれないほどに見てきました。

借金はリスクが大きすぎるのです。

自分の能力以上の借金は必ず破たんを招いてしまうのです。

たった一度の人生です。

富を構築するのに無駄なリスクを背負わずに  
一歩、一歩、確実に歩いていけばいいのです。

私利私欲に負けずに、ほどよいスピードで出来る限り安全な道を歩み、  
まずは必要最低限の富を確実に築けばいいのです。

仮に目の前に欲しい物があっても、  
現金で即買いを出来ないならば、今の自分には  
まだ早いと考えてください。

そして、目の前の仕事をやりお金を貯めた方が  
満足は遅れますが、リスクは少ないのです。

繰り返しますが、世界一の資産家であるウォーレンバフェットの  
「借金をするな！」という教えこそ、私たちが選択すべき  
唯一の富の構築法だと思います。

.....

ここまで足るを知り、無駄を排除するための  
7つの支出についてシェアしてきました。

やる、やらないは自由ですが、  
やらない道を選ぶならば早い引退は  
諦めた方がいいと思います。

また、この7つを見て分かることは、  
私たちがまずやらなければならないことは、  
資産構築にとって『良いこと』をすることではありません。

## 良いことよりも**悪いこと**を優先排除

することが何よりも優先順位が高いのです。

たとえば健康のために1時間のジョギングをしても

「いやあ～疲れた。一服でもしたくなかったな。  
タバコで吸うか。ぷかあ～」

と休憩時間にタバコを吸ってしまうならば、  
健康になるどころか肺を犯しているだけです。

何もしない方がいいのです。

あなたのゴールへ向かうならば、まず良いことをするのではなく、  
邪魔なこと、無駄なことを徹底的に排除してください。

これがステップ1の『足るを知る』ということです。

## **Step2 : ゴールを決める**

何事もそうですが、ゴールがなければ前には進めません。

次のステップはあなたの引退生活を具体的に  
決めることになります。

朝は何時におきて、誰と住み、どこに住み、  
何を食べて、どんなことを考え、  
何をして一日を過ごすのか？

**朝から夜までのスケジュールを具体的に決めてください。**



一つ、一つ、詳細に鮮明に見えるまであなたの引退とは何かを想像してもらいたいです。

なぜかという、私は数多くの起業家と合ってきましたが、成功できない起業家の特長は、はっきりしています。

「細矢さん、私は成功したいです！  
成功してビッグになるんです！！」

という人は100%成功できません。

なぜなら、このような若者に、  
「あなたにとっての成功って何ですか？」  
と聞いても答えることができないからです。

成功、成功と連呼しても、その成功の定義が決まっていないのです。

だから、自分がどこへ向かっていいか分からず、  
やみくもに本を買ったり、怪しいセミナーに参加しては  
無駄な商材を買わされて大切な資産を失っているのです。

あなたも引退をしたいならば、  
具体的で計測できるレベルの引退生活をイメージして  
いま、どんな生活を手にしたいのかを決めてもらいたいです。

そして、その理想的な引退生活を送るには、毎月、どれほどの  
支出が発生するのか、具体的に把握してもらいたいです。

誰にも束縛されず、誰に決められたスケジュールでもなく、

あなた自身が真っ白いキャンパスに自由に絵を描くように、理想のライフスタイルを作り上げてください。

朝は何時に起きますか？

ベッドの隣には誰がいますか？

窓を開けるとどんな風景が見えますか？

朝はどんな朝食をしますか？

仕事はやっていますか？

間取りはどんな間取りですか？

自由にあなたのライフスタイルとスケジュールをイメージしてください。

あなたが「今日もいい1日だったなあ～」と心で思い、夜寝るまでのすべてを決めてください。

そして、具体的に一つ、一つ、紙に書き出してみてください。

面倒に感じるかもしれませんが、紙に描くことでより具体的にあなたのライフスタイルが見えてくるようになります。

次は、

## **無駄をすべて排除してください**

無駄が多いほどにあなたの必要資産額は多くなり、引退は遠ざかります。

もう、無駄に格好つける必要はありません。

同僚や隣の人と無駄な競争心を持つ必要はありません。

足るを知り、その自分に満足しながら、

あなたが心から求める理想の1日を過ごせばいいのです。

その理想的なライフスタイルが決まったら、

どれほどの『お金』が必要なのかを計算してみてください。

毎月、どれほどの資金があれば、その生活ができるのかを

自分で計算してみるのです。

たとえば、

「電気代は節約すれば3500円ぐらいで、水道代は2500円で、  
食費は自炊すれば1万5千円、で、保険が一番安いやつで月1500円、  
事務所は自宅兼用にすればいらぬし、本はアマゾンで中古本を買えば  
月500円もあれば十分だな。エッチなビデオは無料で我慢して…」

と計算すれば月々の必要最低限の維持費が分かるはずです。

本当にあなたに必要なことだけにフォーカスして生活をするので、

必要なことが分かっているれば、自然と数字もはじき出されるはずです。

この維持費をはじき出すことができれば、あなたに必要な

『引退資金も明確になる』のです。

引退ができない方はここで手を止めてしまっている人が多いです。

だから、いつまでも引退資金が分かららないため  
ゴールが見えず諦めて引退できないのです。

ここは非常に重要です。

1時間もあればわかるはずです。

具体的に書き出してください。

**当時、私が習ったときは月 20 万円もあれば  
十分幸せな生活を送れる、**

と聞き驚きましたが、実際に無駄を省けば  
月 20 万円もあれば十分に幸せな生活はできることは  
分かっています。

無駄を徹底的に省けば、月 20 万円もあれば  
あなたも豊かで幸せな生活を送れるはずです。

余計な出費を削らない場合、必要な資産額は  
比例して大きくなっていきますので、  
あなたの引退時期も遅れていくことになります。

くどいようですが無駄を徹底的に排除してください。

あなたが生きていくための最低限の生活費をはじき出してください。  
きっと多くの場合は月 50 万円以下になるはずです。

そうしたら、**その金額に 60 をかけて 300 を足してください。**

月 50 万円以下の生活費用で  
あなたの引退生活を維持するために必要な  
運用資金（資産額）がわかります。

つまり、

## **月額固定費×60+300=必要最低限の資産額**

ということです。

今は理由がわからなくても構いません。  
後で分かるようになりますので、  
まずは計算してみてください。

先ほどの月 20 万円の生活であれば、  
 $20 \text{ 万円} \times 60 + 300 = 1500 \text{ 万円}$ となりますので、  
1500 万円の金融資産を構築し、これらを運用していけば、  
ほぼ引退生活が送れる可能性が高いということです。

これが仮に月 20 万円ではなく、

30 万円であれば、2100 万円  
40 万円であれば、2700 万円  
50 万円であれば、3300 万円

ということになります。

もちろん、月 30 万円ではなく田舎暮らしを实践し、

自給自足を楽しみながら、月 10 万円の生活費で良ければ  
900 万円で十分だということがわかります。

「細矢さん、意外と少ない金額ですね。

私は 1 億円とか 10 億円とかなないと引退できないと思っていました。

これなら私にもできそうです。早く次を教えてください！！」

と思った方も多いことでしょう。

冒頭でも申し上げた通りに、実は難しくないのです。

無駄を省き、リスクを根こそぎ排除していけば、

誰でも十分達成可能な現実となります。

そして、これらの資金をのちほどご紹介する方法で

運用していけば私の過去 7 年間の運用実績と、

日本における過去 500 年の歴史、および、今後の日本経済を

考えていけば十分に達成しうる引退資金なのです。

ここであなたは 2 つの疑問が生じてくるはずです。

「運用資金をどうやって作るのか？」

「どうやって何に運用するのか？」

それではこの 2 つの問題について、一つ、一つ、解説していきます。

## **Step 3 : 運用**

資金の作り方は、最後のステップにご紹介するとして、  
ここでは運用法について教えます。

私たちが無駄を省き、次のステップでご紹介する方法で  
資金を作り上げたら、その資金を鉄壁のガードで守りつつ、  
その資金を堅実に運用していきます。

ただ、気をつけなければいけないことは、  
資産があるていど貯まってくると、甘い誘いがあります。

なので、どんなことがあっても

「だんな、寝ていても年利 200%の儲け話がありますよ！」

という声に耳を傾けないでください。

世界一のお金持ちであるウォーレンバフェットは  
お金持ちになる方法として2つのルールをあげています。

---

---

## 金持ちになるためには2つのルール

【ルール1】絶対にお金を損しないこと。

【ルール2】絶対にルール1を忘れないこと。

---

---

実はお金を稼ぐ以上に守る通すこと難しいのです。

だからこそ、ここは慎重に一步、一步を歩んでください。

何よりもあなたが胸に刻まなければいけないことは、

『足るを知る』ことです。

必要以上に欲を出すとリスクを背負います。

あなたが理想としたライフスタイルを実現するだけの  
リターンがあった時点で、それ以上は求めないでください。

私も経験がありますが、数千万円以上の大金を持つようになると  
どこからともなく、飛びつきたくなるようなウマイ儲け話が  
飛び込んできます。

その目の前の欲に負け、手を出してしまうと  
今まで構築してきた努力が一瞬で消え去ります。

だから、絶対に耳をかさないでください。

リスクを背負わないでください。

可能であればその場からダッシュで逃げてください。

今の目標はまずは引退することです。

堅実なリターンを得ることだけに集中するようにしてください。

いいですか？

「細矢さん、分かりました。絶対に耳を貸しません！」  
と約束してください。

では、これから運用方法をご紹介します。



ただ、あらかじめお伝えしますが、この運用方法は、巷でよく聞くような年利 100%とか 200%という『一発大逆転』の投資手法ではありません。

長期的な視点からインフレや日本の経済状況、そして、世界的な経済状況にもっとも左右されずに安定してあなたに不労所得を運び、あなたの引退生活をサポートしてくれる最も確率が高いであろう手法です。

私自身も数々の運用をしてきましたが、この手法がもっとも堅実で 10 年後、30 年後も安心できます。

ただ、堅実であり確率が高いということであり、100%という意味ではありません。

100%ということを行うのは詐欺師か占い師ぐらいです。

世の中には 100%は存在しないことを理解し、**全ては自己責任**であることは、ご理解ください。

しかし、私自身、この運用方法を実践してきて、株よりも、FXよりも、債券よりも、金（ゴールド）よりも安定したキャッシュフローを生み出し、あなたの引退生活をより堅実にすると私は信じています。

では、その投資とは何かというと、

**地方の中古一戸建て投資**

です。

簡単に言えば大家さん業になります。

「え？細矢さん、大家さんになれというのですが？  
そんな大金もないし、水漏れとかしたらどうするんですか？  
少子高齢化で空き家が増えるとも言われていますし、  
投資詐欺にあうかもしれません。。。  
いきなり言われても、何からしたいいいのかわかりません」

と思う方もいると思います。

これを一つ、一つ、解析していくと、  
それだけで一冊の分厚い本になってしまいますので、  
今日は「地方の中古一戸建て投資をしろ」とだけ言っておきます。

私は不動産投資の出版もして、多くの不動産投資家と合ってきました。  
失敗している人も成功している人も見てきています。

その中でこれほど手堅い投資は無いといっても過言ではありません。

しかも、一戸建て物件を借りてくれる人は、一度、入居すれば、  
数年は入居します。長い方では30年も入居している方も  
普通にいます。

一度契約しただけで3年、5年、10年と、ほったらかしで  
現金収入があるビジネスです。

あなたが病気になろうが、旅行に行っていようが、  
刑務所に入っていようとも、家賃が毎月入金されてくるのです。

しかも、安く買うことができれば、万が一の時、  
購入価格以上に売ることもできます。

不労所得と即金性を兼ね備えているのです。

そして、この大家さん業で引退するために  
必要な軍資金を計算したものが、  
前にご紹介した引退に必要な最低額の資産額です。

## **月額固定費×60+300=必要最低限の資産額**

この計算式をもう少し分解すると、以下のように計算式になります。

## **$(x \div 5 + 1) \times 300 = \text{必要最低限の資産額}$**

一見、難しく感じますが、仕組みはシンプルです。

地方の戸建てを一軒買うと、なんだかんだで  
家賃の80%である月5万円ていどの収入が手に残ります。

なので、

月20万円の不労所得が欲しい人は、4軒×5万円=20万円。

月30万円の不労所得が欲しい人は、6軒×5万円=30万円。

月40万円の不労所得が欲しい人は、8軒×5万円=40万円。

この数に合わせて賃貸用の中古物件を買えば、  
不労所得で生活をしながらも良くなります。

ただ、空き家が出てしまうと暮らしていけなくなるので、  
もう一軒ほど買ってあげれば、最低限の生活をカバーし、  
貯蓄もできるので、さらにもう一個ずつ買ってあげれば  
安心です。

なので、計算式では、 **$(x \div 5 + 1)$** の+1を以下の計算で組み込んでいます。

そして、その家を一軒買う購入目安価格は、  
私の投資手法の場合、300万円もあれば買えます。

なので、 $(x \div 5 + 1) \times 300$ の $\times 300$ があなたの引退するための  
総額を把握する計算になるのです。

では、あなたがすべき7つのステップを紹介します。  
資金が貯まったら騙されたとおもって文句を言わずに実践してみてください。

## 引退資金を運用する7ステップ

### ステップ1. 不動産投資の本を10冊ぐらい読む

最初は不動産投資について知識がないはずですが。  
そこで、10冊ていどまずは軽く目を通してみてください。

多くの不動産投資家は知識を吸収する前に  
お金を投資してしまうから失敗しています。  
だからバカな営業マンに騙されるのです。

今ではアマゾンに行くと中古本が 100 円も出すと買えます。  
10 冊買っても送料込で 2000 円もあれば最高峰の知識を  
入手できます。

まずは騙されたと思って 10 冊ほど読んでみてください。

読み終わるころには、そこいらの不動産屋よりも、  
不動産投資については知識が上になるので、  
失敗する確率が、根こそぎ排除されることをお約束致します。

## ステップ 2. 大好きな地域（地方）を決める

投資をする地域を決めてください。  
ポイントは 2 つです。

1 つ目は、あなたが好きな町を選択してください。

あなたが住みたいと思わないような町では、  
お客さんも住んでくれませんし、物件探しに  
出かけるのも嫌になります。

あなたのモチベーションが上がる町を選ぶのです。

2つ目は、地方都市を選んでください。

都市部は物件が高すぎます。一戸建ても少ないことでしょう。  
ほどよく自然が広がり、土地の価格が安い場所を選んでください。

このような地域で、引っ越しとか離婚などという理由で  
売り急ぐ物件がでた場合は、かなり安く買えることが可能になります。

### ステップ3. 必要最低限のキャッシュフローが出るまで物件を買う

単純作業の繰り返しです。利益の出る物件を買い続けてください。

### ステップ4. 支出額×12ヶ月を予備資金として蓄える

順調に物件を買い増し引退できる不労所得が貯まっても、  
まだ油断はしないでください。

長い人生の中では何があるか分かりません。

1年分の緊急避難用の資金を準備しておいてください。

今の日本では突然の戦争などはないかもしれませんが、  
想定外の事態に備えて、1年分の余裕資金を確保しておいてください。

## 5. 上記4つのステップが完了したら引退する

上記4ステップを淡々と繰り返し、目標の不労所得が獲得できたら  
あとはあなたの自由です。

好き放題に引退を満喫してください。

あなたは経済的自由人として何にも束縛されることなく、

あなたの人選を謳歌できるようになります。

## 6. 家賃の 80%を生活費にする。

毎月、入金のある家賃収入ですが、すべては使い切らないでください。今後、リフォームや固定資産税の支払いなどの必要があり、出費が予想されます。

すべてを使い切るのではなく、20%を目安にあなたの貯金通帳に保管しておいてください。

## 7. もしものために、のんびりと小さくビジネスを行う

世の中は、何があるかわかりません。突然の病気で手術代が必要になったり、銀行が潰れるほどの大事件があるかもしれません。そのときに備えて、のんびりで構いませんので、小さくビジネスをしていることをお奨めします。知識への投資は行い、準備体操さえできていれば、いつでも富を構築することが可能成ります。

これが引退への具体的な7ステップです。

シンプルな投資手法ではないでしょうか。

私が実際に投資を行い、数々の投資家と出会い、20年間近く研究した結果、もっとも高確率でかつ、最短の資金で引退できる手法だと確信しています。

現物投資にもなるので、インフレ対策にも強く、万全の引退基盤を作りあげることができるのです。

では、その不動産投資の軍資金をどうやって作るのか？

という疑問があると思いますが、その手法の前に、  
不動産投資についてのQ&Aを行っていきたいと思います。

## よくあるQ&A

**Q1：この投資法ではどれぐらいのリターンがあるのでしょうか？**

実質の利回りとして10%を目安としています。

不動産の利回りは、『年間家賃÷購入価格＝利回り』で計算できます。  
仮に年間家賃が100万円で300万円の購入費用だと利回りは33%です。  
これに税金や雑費を引くと実質利回りになります。

それらを考慮して10%が一つの目安となるでしょう。

**Q2：どれぐらいの価格帯から買えるのでしょうか？**

地方の一戸建てならば300万円もあれば買える物件が出てきます。  
過去に私が購入した物件では、たった160万円で小学校から  
歩いて5秒という物件があります。築40年の古い物件でしたが、  
リフォーム中からお問い合わせをいただき、現在では月75000円で  
賃貸している例もあります。



地方ではじっくりと探していけば良質な戸建て物件が売りに出てきます。

### Q 3 : 水漏れとか雑草の管理とか面倒ではないでしょうか？

一戸建ての場合、草刈などは住んでいる方が行ってくれます。

また、水漏れなどは不動産屋に電話をすれば自分でやることはありません。

わたし自身は管理を不動産屋に依頼しているので、入居者から直接連絡を貰うことはありません。

なお、私の実測値でいえば、1つの物件から水漏れなどの修理依頼などを不動産屋から報告を受けるのは、2年に1度ぐらいです。

過去5年間、ほったらかしという物件もあります。

### Q 4 : 不動産投資はなんとなく危険なような気がします。

不動産投資は衣食住の根底に関わるビジネスです。

無くなることはありませんし、急激にすたれることもありません。

入居者が毎日のように引っ越しをすることもありません。

50年以上前の戸建て物件でも賃貸物件として、

貸しに出されているほどです。

50年も続くビジネスを危険と考えならば、

他の投資を考えるべきでしょう。

### Q 5 : 家賃の80%で生活をする理由はなぜですか？

残り2割は何のためのお金かというところ、税金の支払いや

今後のリフォーム代、あるいは、緊急費用として使わないで保管しておいてください。

### **Q 6 : 12 ヶ月分の予備資金を作っておく理由は何ですか？**

1年あれば誰でも挽回できるからです。  
理想的な金額は3~5年分の余裕資金ですので、  
私は5年分の予備資金を持つようにしています。

これだけの資金があれば、時間的にも余裕があります。  
何が起こっても、ゼロから富を構築できるようになるからです。

### **Q 7 : レバレッジを利かせて 10 億円の資産を構築したいです！**

否定はしませんが、レバレッジは諸刃の剣です。  
破産した人を何人も見てきましたし、また、借金をして  
レバレッジを利かせると、常に借金のことが頭にあり、  
自由に生きている気がしません。

やる、やらないは自由ですが、このレポートの趣旨は  
足るを知り、1日でも早く引退することですので、  
私はお奨めしません。

### **Q 8 : 人口が減っていくのに危険だと思いますが！？**

日本の人口は一気に減っていきます。  
しかし、日本には人口が横ばいであり、逆に増えていく地方都市もあります。

私は千葉県の上生村というところにも投資をしていますが、この地域は『村』にも関わらず人口は横ばいであり、人口の割には家賃を高く設定しても直ぐに入居が決まります。

また、人口統計局という国が人口を管理しているホームページがあります。それらを参考にすると、国家予算を投入してリサーチした20年後の人口も直ぐに分かります。

### Q 9 : 空き室が出たらどうするんですか？

これからご紹介する手にすべきスキルを身に着けるとライバルよりも商売上手になるので空き室は気にならなくなります。

ちなみに、1年(12ヶ月)で12ヶ月入居した場合に入居率を100%として、月単位で空き室率を計算した場合、私の過去の入居率は、96.3%でした。

これほど信頼できる投資は他にないことでしょう。

### Q 1 1 : もっと高い利回りがいいです！

不動産投資をしていると、利回り20%とか、30%などもありますし、私自身もそのような物件を買いました。

ただ、ここで重要なのは、リスクなく、あなたの引退生活を作り上げることです。高い利回りを狙いすぎると思わぬリスクを背負ったり、物件が買えずに引退時期が

遅れることがあります。

狙うのは自由ですが、そのリスクも覚悟した方がいいでしょう。

## Q11：最後の質問です。

ここまでで無駄を徹底的に排除し、足るを知り、  
リスクを極限まで取り払った投資をすることは理解できました。  
ただ、その投資をするための軍資金がありません。  
どうしたらいいのでしょうか？

ここで最後となる軍資金を作るための方法を教えます。

あなたがフラー博士の富を理解し、無駄を排除し、  
必要最低限の金融資産額が明確になったなら、  
その金融資産を作らなければなりません。

その最後のステップを教えてください。

ただ、今日は長くなってしまったので、  
後日、具体的なお話をしていきます。

楽しみにまっけていてください。

ではまた！

細矢ますゆき